

NovaJet™ PRO 600e クイック スタート ガイド

P/N 210058-00

(テキスト P/N 210637- 8 Rev. C)

Copyright ENCAD, Inc. 1998.

ENCAD™、NovaJet™、Quality Imaging Supplies、Extreme Color Printing、Graphic Outdoor Matched SystemはENCAD, Inc.の商標です。

その他の商標および登録商標は、該当各社が所有するものです。

本書の一部または全体を、ENCAD, Inc.の書面による許可なく、複写、配布、転送、転写、または異なる言語あるいはコンピュータ言語に翻訳すること、電子的、機械的、磁氣的、あるいはそれ以外の方法で読み取り可能な形で保存すること、第三者に公表することは禁じられています。 ENCAD, Inc., 6059 Cornerstone Court West, San Diego, CA 92121, U.S.A.

改訂

改訂 A 1998年4月

改訂 B 1998年6月

改訂 C 1998年7月

目次

プリンタの開梱	3
Windows用ドライバおよびMacintosh ENCAD Print Utility (EPU) のインストール	8
コントロール パネルの使い方	10
メニュー機能の選択	10
言語の設定	10
用紙のセット	11
キャリッジの移動	12
カッターの取り付け	12
インク導入管のインク吸引	15
カラー テストの印刷	18
テスト印字パターン印刷	18
インク カートリッジの位置補正	20
カートリッジの認識	22
Quality Imaging Supplies™	23

NovaJet PRO 600eクイック スタート

NovaJet PRO 600eワイド フォーマット カラー プリンタをお買い上げいただき、ありがとうございます。本書では、以下の内容について説明します。

- プリンタの開梱と組み立て
- 用紙のセット
- インク タンクのインク注入
- インク カートリッジの取り付け
- 用紙カッターの取り付け
- ドライバソフトウェアのインストール
- インク カートリッジのテスト

プリンタの開梱

NovaJet PRO 600eプリンタは、3つの箱に入っています。それぞれの箱の中身については次の表をご覧ください。

箱 1	箱 2	箱 3
プリンタ (インク タンク4個付) アクセサリ ボックス: クイック スタート ガイド CD-ROM (ユーザーズ ガイド、イン ストール ガイド、ソフトウェアドラ イバ) インク タンク カートリッジチューブ針 (5本) ねじ回し スタンド用ねじ ループバックケーブル 保証書	プリンタ スタンドと給紙/ 巻取りシステム合機構 ドライヤ 用紙コア (直径 5.1 cm) 電動インク吸引器	インク カートリッジ (4個) 電源コード ユーザーズ ガイド 用紙サンプル インク ボトル (4色、各 500 ml)

プリンタを組み立てる前に、まず最初に、箱の中身を確認してください。万一、不備がある場合には、お買い求めになった取扱店またはENCADまでご連絡ください。また、プリンタをPCに接続するには、IEEE 1284規格の平行ケーブル (別売) が必要です。Macintoshコンピュータに接続する場合には、ImageWriter II規格のシリアルケーブル (別売) が必要です。

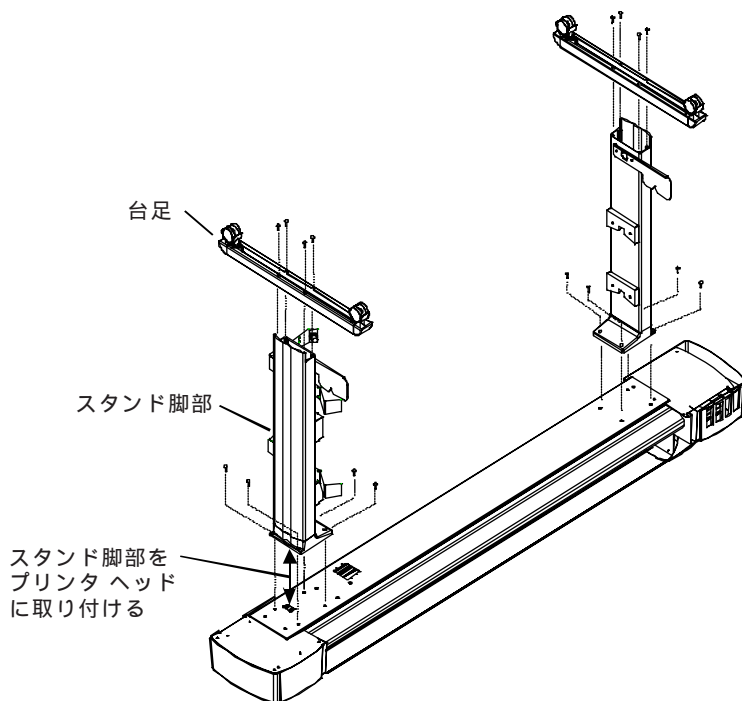
このプリンタは大型で重いため、箱の持ち運びは2人 (またはフォークリフト) で行ってください。また、あらかじめ通路やエレベータなどの広さを測定し、設置場所で組み立てられるだけの広さがあるかどうかを判断しておきましょう。

スタンドとプリンタの組み立て

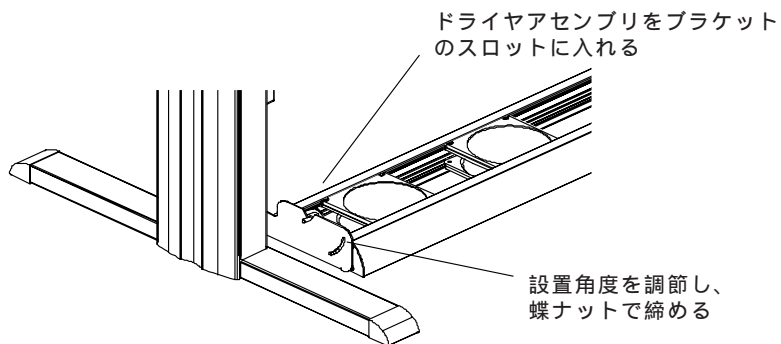
- 1 プリンタ ヘッドが入っている箱を見つけ、上下を逆さまにして置き、底から箱を開けます。ねじとねじ回しが入っているセットアップ ボックスを取り出します。
- 2 スタンドが入っている箱を開けて、スタンドと台足を取り出します。
- 3 台足には2個ずつ（1個はロック付）キャスターが付いています。ロックするキャスターが対角位置になるようにして、スタンド脚部に台足を取り付けます。組み立て中にスタンドが動かないように、ロックしておきましょう。
- 4 一方のスタンド脚部にコネクタが付いています。脚部の穴からコネクタを抜いて、コネクタを固定している紐を取り除きます。コネクタをプリンタ ヘッド底面のソケットに差し込みます。ロール紙固定ブラケットがプリンタ ヘッドの内側に向くようにスタンドの脚部を持って、プリンタ ヘッド底面の穴に合わせます。セットアップ ボックスに入っているねじ回しを使って、8本のねじで両方のスタンド脚部をプリンタ ヘッドに取り付けます。

注意：脚部を取り付ける際にケーブルをはさまないように注意してください。

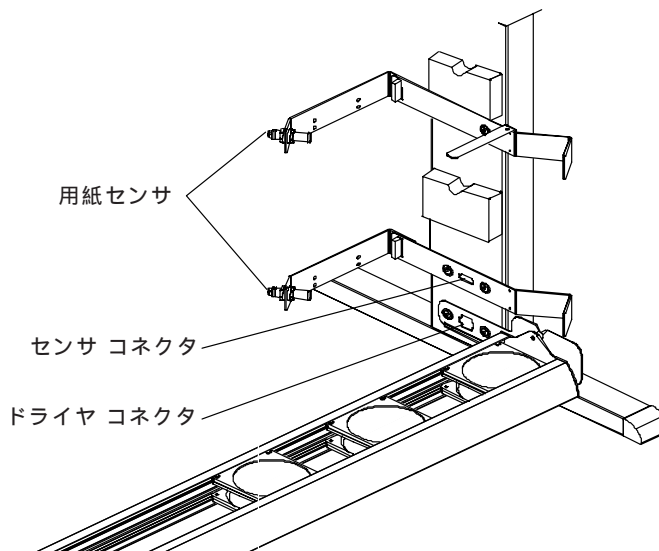
- 5 プリンタは 2人で持ち運んでください。組み立てたプリンタとスタンドを箱から取り出します。箱と梱包材は、プリンタを輸送する場合に備えて保管しておきましょう。



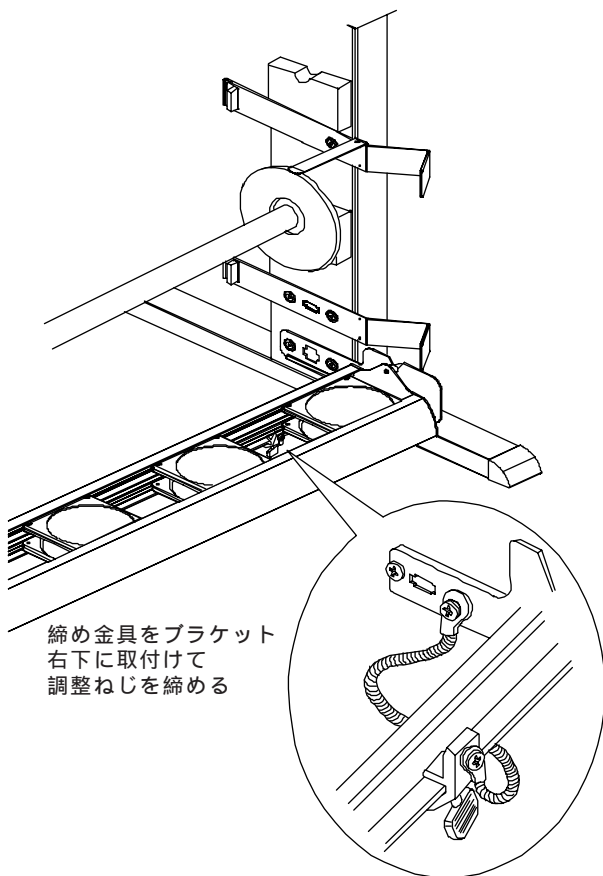
- 6 スタンドのベース部分にあるスロットから蝶ナットを取り外し、ドライヤ アセンブリを取り付けます。ファンが上向きになり、プリンタに向かって送風することを確認してください。ドライヤ アセンブリの設置角度を調節し、左側を蝶ナットで締めて固定します。



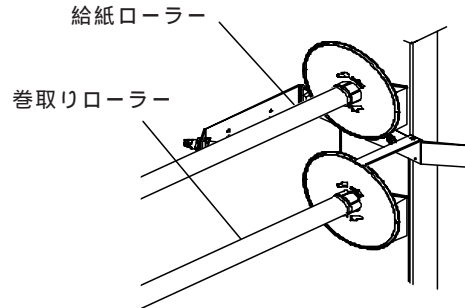
- 7 ドライヤのコネクタを右側のスタンド脚部にあるコンセントに差し込みます。



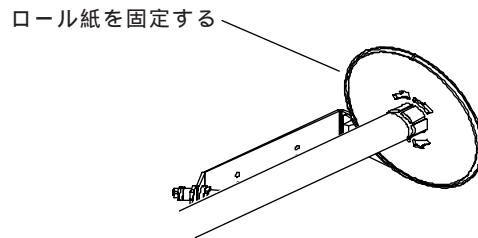
- 8 接地ストラップの締め金具をドライヤ アセンブリのブラケット後ろ右下に取り付け、調整ねじをしっかりと締めます。



- 9 用紙センサが右側のスタンド脚部のコネクタに差し込まれていることを確認してください。用紙をセットするときには、このセンサ取り付けブラケットをずらすことができます。
- 10 ロール紙を給紙ローラーに取り付けます。巻取りローラーを使用する場合には、巻取りローラーに用紙コアを取り付けてから、スタンドに挿入します。次の図のように2本のローラーを取り付けてください。ローラーの一方の端を左側のローラー押さえに挿入してから、もう一方の端を右側のローラー押さえにはめ込みます。ローラーのギアと押さえのギアが噛み合っていることを確認してください。



- 11 用紙ガイドを用紙コアに取り付けてからロック機構を締めて固定します。ロール紙を取り付ける前にセンサ取り付けブラケットを動かした場合は、必ず元の位置に戻してください。



出荷用保護材の取り外し

注記：プリンタの電源を入れる前に、インクカートリッジキャリッジを固定している保護材、コントロールパネルの保護被膜、インクタンクカバーのテープが取り除かれていることを確認してください。背面のサポートブラケットと左側面のシャフトの間に入っているパッドは取り出さないでください。また、キャリッジアセンブリの左右にある黒いテープも剥がさないでください。

電源投入とコンピュータの接続

- 1 プリンタの背面にある電源コネクタに電源コードを差し込みます。



- 2 プリンタケーブルをプリンタの背面にあるコネクタに接続します。PCに接続するにはIEEE 1284規格のパラレルケーブルを使用します。Macintoshに接続する場合には、ImageWriter II規格のシリアルケーブルを使用します。

- 3 プリンタの背面にある電源スイッチをオンにして、電源を入れます。コントロールパネルにプリンタの機種名、ファームウェアのバージョン番号、電源投入時セルフテストおよびRAMテストのステータスと進行状況が表示されます。

Windows用ドライバおよびMacintosh ENCAD Print Utility (EPU) のインストール

先に進む前に、ご使用のコンピュータにプリンタドライバをインストールしてください。ドライバはプリンタに付属のCD-ROM (箱1) に入っています。「Install.txt」ファイルに記載されているインストール手順を必ずお読みください。ドライバの操作方法について詳しくは、CD-ROMの「Docs」フォルダに入ってるファイルを参照してください。

必要なシステム :

Microsoft Windows 95またはWindows NT 4.0以降

Intel 80386以上のCPUを搭載したPC互換機

32 MB以上のメモリ

10 MB以上のハードディスク空き容量 (アプリケーション用)、カラーテーブルを1つ追加するとさらに15 MBずつ必要

Windows 95の場合 :

- 1 CD-ROMをディスクドライブに挿入します。
- 2 [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選び、 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [ディスク使用] を選択し、以下の通りに入力して [OK] をクリックします。
<CDドライブ名>:¥drivers¥Windows¥(言語)¥95
または
[参照] をクリックし、<CDドライブ>:¥drivers¥Windows¥(言語)¥95を指定します。

Windows NT 4.0の場合 :

- 1 CD-ROMをディスクドライブに挿入します。
- 2 [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選び、 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [ディスク使用] を選択し、以下の通りに入力して [OK] をクリックします。
<CDドライブ名>:¥drivers¥Windows¥(言語)¥NT40
または
[参照] をクリックし、<CDドライブ>:¥drivers¥Windows¥(言語)¥NT40を指定します。

Macintoshの場合

必要なシステム :

PowerPCを搭載したMacintoshコンピュータ

32 MB以上のメモリ

20 MB以上のハードディスク空き容量 (アプリケーション用)、RIPおよびファイル印刷用の空き容量も必要です。

- 1 CD-ROMをディスクドライブに挿入し、driver¥MAC¥(言語)¥epuを開き、[Print Utility のインストール] アイコンをダブルクリックします。
 - 2 [続ける] をクリックすると、ドライバのインストールに関する情報が表示されます。この情報は印刷することもできます。
 - 3 [続ける] をクリックし、指示に従います。
 - 4 プリンタが接続されているポートを選択します。プリント サーバをご使用の場合には、AppleTalkをポートとして選択してから、いずれかのLaserWriterドライバを使って、セレクトからプリント サーバを選択します。
AppleTalkを使用しない場合には、標準のImageWriter IIシリアル ケーブルの一方の端をプリンタ ポートまたはモデム ポートに差し込み、もう一方の端をプリンタのRS-422 ポートに接続します。詳しくは、CD-ROMに収録されている説明ファイルを参照してください。
- ! 注意：ワイドな印刷（152 cm、107 cm、61 cm）や600 dpiの印刷の場合、ファイルのサイズがかなり大きくなります。そのため、Windowsのドライバを使ったり、ENCAD Macintosh EPUを使ってアプリケーションから直接印刷すると、プリンタの処理速度が遅くなったり、一時的に停止することがあります。また、プリント パスの設定はデータの転送に影響します。パスの回数を減らすほど（高速プリント モード）一度に転送されるデータの量が増えるため、プリンタが一時的に停止する可能性が大きくなります。このような問題を解決するには、スタンドアローンのRIP専用ソフトウェアやハードウェアが必要です。高速なRIPや印刷が可能になるだけでなく、一度に複数のRIPと印刷が処理できるようになります。ENCADのホームページでは、NovaJet Pro 600e対応のRIP製品のリストを紹介しています。

ICCカラー プロファイルのインストール

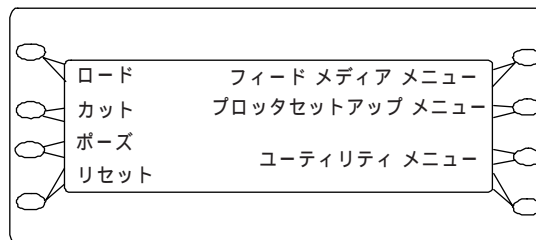
注記：Macintosh EPUの場合には、ICCカラー プロファイルが自動的にインストールされません。

ENCAD Windowsドライバでは、オリジナルのソース ファイルと最終印刷出力の最高のカラー マッチを実現するためにICCカラー プロファイルを使います。これらのファイルがなくても出力することはできますが、ENCAD Windowsドライバを使って最高の性能と品質を実現するためには不可欠です。これらのカラー プロファイルは、付属CD-ROMの「Color」フォルダに入っています。新しくご使用になるプリンタから印刷する前に、カラー プロファイルをインストールされることを強くお勧めします。

- 1 ディスクドライブにCD-ROMを挿入します。
- 2 「Color」フォルダを開きます。
- 3 「600eicc.exe」をダブルクリックします。
- 4 カラー マネージメント ファイルがC:¥Windows¥System¥Colorにインストールされ、ファイル名には拡張子「.icm」が付きます。

コントロール パネルの使い方

プリンタの右側にあるコントロールパネルは、ボタンが8個とディスプレイから構成されています。ディスプレイにはモードや設定が表示されます。ここでは、用紙とインクカートリッジの取り付けに必要なコントロール パネルの概要を説明しておきます。メニュー オプションの詳細については、『ユーザーズ ガイド』の第2章、3章、4章を参照してください。また、付録Cの「メニュー構造」には、プリンタ モードとその機能の概要が記載されています。



メニューは、操作メニューと選択メニューの2種類に区別できます。操作メニューには、詳細メニューのリストや、[カット]、[ロード]などの操作が表示されます。選択メニューは、設定値の表示や変更に使います。

メニュー機能の選択

機能を選択するには、表示されている機能の隣にあるボタンを押します。

選択した機能で利用できるオプションのリストが表示されます。適切なオプションのボタンを押してから [OK] を押すと、そのオプションが選択されます。

メニューの種類によって異なりますが、[OK] または [シュウリョウ] ボタンを押すとひとつ前のメニュー レベルに戻ります。メニューのトップ レベルにジャンプすることはできません。

[キャンセル] ボタンを押すと、前の設定値に戻してからメニューを終了します。

言語の設定

正しいバージョン番号のファームウェアをご使用になると、メニューの項目とメッセージの表示言語を指定できます。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、日本語、中国語、韓国語のいずれかを選択してください。



言語を変更するには

- 1 [プロッタセットアップ]-[ユーザー セッテイ メニュー]-[ゲンゴ] を押して、適切な言語を選択します。
- 2 [OK] を押します。

用紙のセット

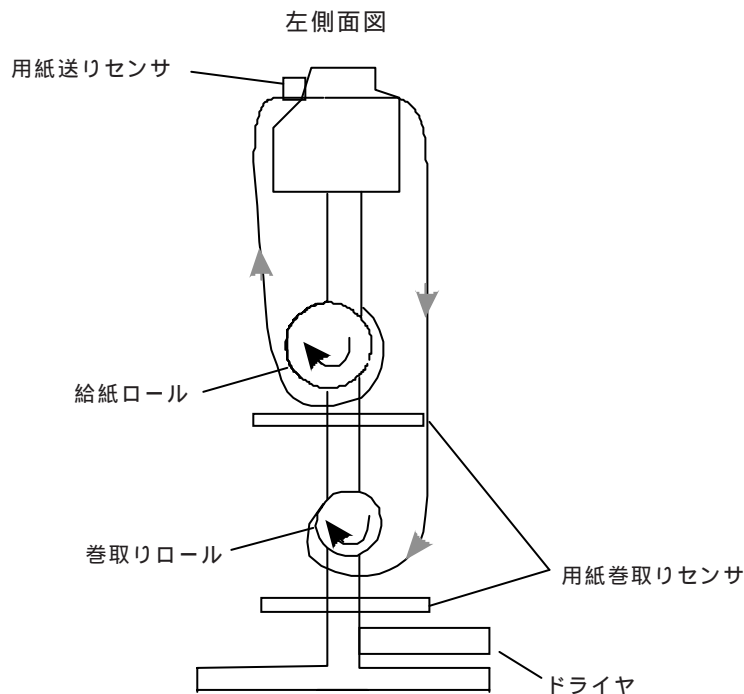
ロール紙またはカット シートのいずれかを使用できますが、初期設定はロール紙になっています。用紙がプラテンに平行になるように持って、まっすぐに給紙します。プラテンのセット ラインに合わせて、用紙を正しく入れてください。背面から給紙します。用紙の幅に合わせて用紙ガイドを調節します。

- ! 重要! 必ずENCAD QIS用紙を使用してください。その他の用紙を使用すると20 KV以上の静電気が放電され、下側のローラーとプリンタの脚部にアークが発生することがあります。その結果、一時的または永久的に、液晶ディスプレイが故障したり、用紙軸モーターが停止する恐れがあります。
- ! プリンタの機種にもよりますが、152.4 cmまでの幅の用紙を使用することができます。重いロール紙は、2人で取り付けてください。
- ! ロール紙にしわがあったり、端が破れていたりすると、紙詰まりの原因となります。用紙を入れる前にその部分を切り取ってください。



ロール紙を取り付けるには

- 1 次の図のように、ロール紙を上側ローラーにセットします。用紙ガイドをロール紙のコアに取り付け、調節してロールを固定します。用紙の先端をプリンタの背面から差し込んで、プラテン上のマークに合わせます。プリンタによって用紙が検知されると、自動的に給紙されます。



ロール紙のセット

- 2 [ロード] ボタンを押して、用紙を印刷位置まで送ります。
- 3 巻取りローラーを使用する場合は、必ず巻取りローラーに用紙コアを取り付けてください。コアの左右と中央の3点で用紙の先端をテープでとめ、図のようにセットします。
印刷された用紙が巻取りコアの前に下がり、プリンタ スタンド脚部のセンサで検知されると、巻取りローラーがアクティブになり、用紙を巻き取ります。
センサをブロックしないように注意してください。
- 4 プリンタの背面にある用紙ガイドを調節します。用紙との間に約16 mmの隙間を残しておくようにしましょう。

キャリッジの移動

プリンタを使用していないときには、インク カートリッジはプリンタ右側のサービスステーションに入っています。サービスステーションではインクジェットがシールされ、乾燥を防ぎます。電源が入っている場合には、コントロールパネルで[ユーティリティ]-[カートリッジ コウカン]を選択すると、キャリッジをサービスステーションから出して、インク カートリッジの取り付けや、取り替え、調整、清掃、カッターの取り替え、サービスステーションの清掃を行うことができます。キャリッジは絶対に手で動かさないでください。プリンタ故障の原因となります。

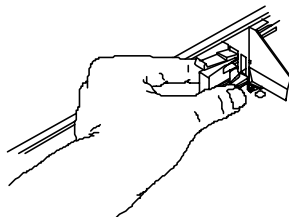
カッターの取り付け

インク カートリッジ キャリッジに取り付けられているカッターは、ロール紙のカットに使用します。このカッターはプリンタの出荷時に取り付けられています。

- ! 怪我をすることがないように、カッターの扱いには十分注意してください。
- ! 摩耗したカッターで用紙をカットすると、紙詰まりの原因となったり、切れ端がギザギザになるので、必要に応じてカッターを取り替えてください。ナイフなどを使って用紙をカットすることがないように注意してください。ナイフなどによってプラテンに傷がつくと、プリンタの保証は無効になります。

⇒ カッターを取り付けるには

- 1 [ユーティリティ]-[カートリッジ コウカン] ボタンを押して、カートリッジ キャリッジをプラテンの中央に移動します。
- 2 カッターはキャリッジの左端に取り付けます。カッター レバーを下に押すと、古くなったカッターを取り外すことができます。新しいカッターは、スロットにカチッとハマるまで押し込んでください。

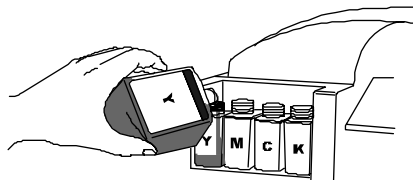


- 3 [ユーティリティ]-[カートリッジ コウカン] ボタンを押して、キャリッジをサービスステーションに戻します。これが、カッター刃のホームポジションです。

インク タンクのインク注入

4 個の大きなインク タンクを装備しているので、長時間の連続印刷が可能です。インクタンクはプリンタの左側面カバーの内側に入っています。

注記：デフォルトよりも速い印字速度に設定している場合には、インク タンクに入れるインクの量を300 ml以内にしてください。



⇒ インク タンクにインクを注入するには

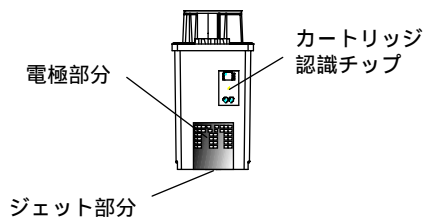
- 1 プリンタ左側面のカバーを開いて、インク タンクのふたを外します。別の色のインクタンクに誤ってインクをこぼしてしまうようなことがないように、1つずつふたを開けてください。
- 2 インクの色および種類が、タンクのインクと一致していることを確認してから、注入します。タンクの上から約1.3 cmを残し、400 ml以下のインクを入れます。すべてのインクカートリッジとタンクに同じ種類のインク (GA、GS、GO) を使用します。タンクのふたを閉めます。きつく締めすぎないようにしましょう。
- 3 インクのセットを簡単に取り替えることができるように、プリンタには2次配管セットが装備されています。色コード付クイック接続用取り付け具によって、取り付けやすいように設計されています。タンクが正しい色の取り付け具に接続されていることを確認してください。タンクを交換するには、同じ色の取り付け具にはめ込むだけです。
- 4 残りのタンクにも同様の手順を繰り返し、カバーを閉じます。

インク カートリッジの取り付け

このプリンタに使用できるカートリッジは、ENCAD PRO 600e専用のカートリッジだけです。NovaJet、NovaJet Pro、NovaJet PROe用のカートリッジは使用できません。正しいカートリッジを使用しないと、プリンタが故障したり、印刷できなくなることがあります。プリンタの保証も無効になるので注意してください。

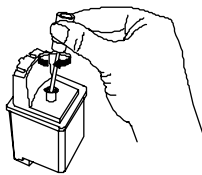
すべてのインクカートリッジとタンクに同じ種類のインク (PRO 600eシリーズ専用 GA、GS、GO) を使用していることを確認してください。

注記：インク カートリッジを取り付ける前に、青いテープがカートリッジのジェット部分についていることを確認ください。（この時点では、まだこのテープを剥がさないでください！テープを剥がすと、カートリッジからインクが流れ出すおそれがあります。インク導入管にインクを吸引して、真空性を確立してからテープを剥がしてください。）さらに、下の図に示されている位置にカートリッジのIC チップがあり、しっかりと付いていることを確認してください。万一、破損などが見つかった場合には、予備のカートリッジを使い、お求めになった取扱店にて交換または返品してください。

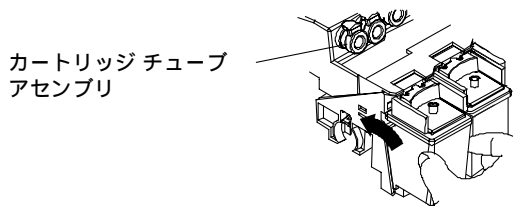


⇒ インク カートリッジを取り付けるには

- ！ インク カートリッジのジェット部分や電極部分には触れないでください。
 - ！ インクの色を誤って混ぜたりすることがないように、1色ずつ扱ってください。
- 1 プリンタの電源が入っている状態で、コントロール パネルから [ユーティリティ]-[カートリッジ コウカン] を押し、インク カートリッジを交換できる位置までキャリッジを移動します。
注記：インク導入管がよじれないように注意してください。
 - 2 新品のカートリッジは、インクが入っており、インクが吸引された状態で出荷されます。袋から取り出し、保護キャップを外します。



- 3 カートリッジの底面を正しいスロットに合せます。カートリッジのジェット板についている青いテープは剥がさないでください。カートリッジをまっすぐに立てながら、カチッという音がするまで押します。カートリッジが固定されていることを確認してください。



インク導入管のインク吸引

インクタンクにインクを注入したときには、電動インク吸引器を使って4本のインク導入管にインクを吸引し、導入管とインクカートリッジ内のインクのサイフォンを確立します。電池が入っていることを確認してください。

この手順は、プリンタを最初にセットするときと、インクカートリッジを取り替えたとき

透明チューブ



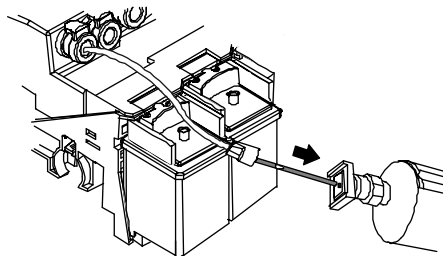
に必要な操作です。

インクの色が混ざることがないように、別の色のインクを扱う前に電動インク吸引器内のインクをよく拭き取ってください。

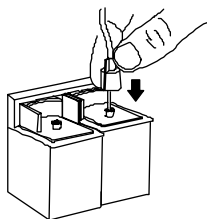


チューブ針アセンブリを取り付けてインク導入管にインクを吸引するには

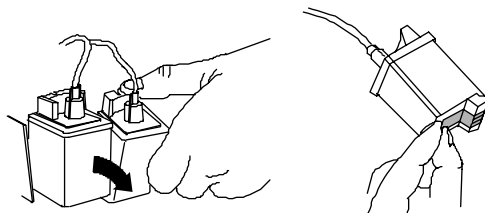
- 1 針アセンブリコネクタをキャリアに接続します。針を電動インク吸引器の小さな穴に差し込みます。カートリッジごとに、青とグレーの2つのコネクタがあります。すべてのチューブ針アセンブリが同じ色のコネクタに接続されていることを確認してください。



- 2 電動インク吸引器のボタンを押して、インクタンクから針までインクを吸い上げます。
- 3 電動インク吸引器の透明チューブにインクが見えるようになったら（約5～10秒）、電動インク吸引器から素早くカートリッジの針を外して、インクカートリッジ上部の差し込み口に挿入します。針を時計方向に締めて、しっかりはまっていることを確認してください。



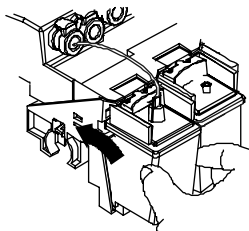
- 4 ゆっくり回しながら締め（約90度）、空気が漏れないようにします。ただし、締めすぎないようにしてください。インクの真空性が安定するまで20秒ほど待ちます。
- 5 カートリッジをキャリッジから外して、カートリッジのジェット部分の青いテープを剥がします。注意：カートリッジ内の真空性が失われることがあるため、カートリッジは30度以上横に倒さないでください。



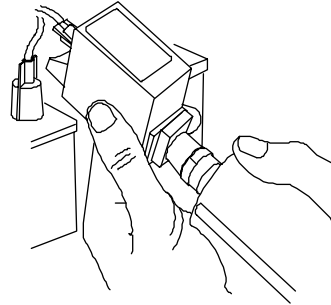
- 6 カートリッジを反時計回りに完全に回転させ、インク導入管にねじれがないことを確認します。

ジェット板上にインクが漏れていないかを確認します。ジェット板にインクがにじんでいる場合は、カートリッジ内の真空性が失われたか、または導入管から空気が漏れていることが考えられます。ジェット板にほんの少量のインクが付着しているときには、糸くずの出ない布を湿らせて、拭き取ってください。

- 7 カートリッジをキャリッジに挿入します。



- 8 カートリッジごとに、同様の手順を繰り返します。
- 9 [ユーティリティ]-[カートリッジ コウカン] を押して、カートリッジをサービスステーションに戻します。
- 10 次のセクションの説明に従って、カラー テスト、テスト印字パターン、用紙軸テストを印刷します。
- 11 すべての色が希望通りに印刷されていれば、手順15に進んでください。希望通りでない場合は、必要に応じて電動インク吸引器を使ってカートリッジのインクを吸引します。電動インク吸引器の吸い込み口をカートリッジのジェット部分に当てます。



- 12 電動インク吸引器の吸い込み口がジェット部分を覆っていることを確認してから、電動インク吸引器の透明チューブにインクが見えるようになるまで、3~5回押します。さらに、次の5秒間、電動インク吸引器の吸い込み口がジェット板を覆っている状態を保ちます。
電動インク吸引器を外すとき、先端のシリコンでジェット板をきれいに拭き取ります。別のカートリッジを扱う前に、先端のシリコンに付いているインクを拭き取ってください。
- 13 カラー テストとテスト印字パターンを再び印刷してください。（用紙軸テストについては、用紙を変更するときのみ再び印刷します。）各色ごとに適切な真空性が保たれているかを確認します。
- 14 インクが詰まっている場合は、必要に応じてカートリッジを再吸引します。必要に応じてジェットの詰まりを手作業で除去して補正してください。
- 15 すべてのカートリッジが正常に機能することが確認できたあと、「インク カートリッジの位置補正」のセクションで説明されるように、カラー デッドバンドとカラー キャリブレーション テスト パターンを印刷してください。

カラー テストの印刷

カラーテストを印刷すると、インクの吸引が正しく行われたか、真空性の設定が適切かどうかを確認することができます。



カラー テストを印刷するには

- 1 プリンタに用紙がセットされていることを確認します。
- 2 [ユーティリティ メニュー]- [サービス メニュー]- [シンダン]- [カラー テスト] を選択します。
- 3 カラー テストの比率を100%に変更して [OK] を押します。
テストが印刷されます。
- 4 印刷されたカラーの部分の部分が塗りつぶされていれば、カートリッジのインク吸引が正しく行われていることとなります。完全に塗りつぶされていない場合には、もう一度カラーテストを実行してください。

テスト印字パターンの印刷

プリンタは、印刷前と印刷中（定期的）にサービスステーションでインクカートリッジの拭き取りを行います。この機能を使うかどうかは、印刷中または印刷の合間にユーザーが選択できます。拭き取りを行っても、使用せずに長時間空気に触れると、カートリッジのジェットが目詰まりすることがあります。テスト印字パターンを印刷して、ジェットをクリアし、インクカートリッジが正しく噴射されることを確認してください。毎日テスト印字パターンを行って、最高の印刷品質を維持してください。

また、プリンタの「オープン ジェットの検出と補正」機能により、長時間の自動印刷においても最適な印刷品質を維持することができます。複数パスの印刷時、電気的な障害のあるジェットが自動的に補正されます。ユーザーは、ジェットが詰まっていないことを確認してから適切なプリントモードを選択するだけです。テスト印字パターンを印刷してからプリントモードを設定します。

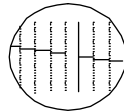


テスト印字パターンを印刷するには

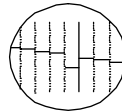
- 1 用紙をセットして、[ユーティリティ]- [テスト インジ] を押します。テストパターンが印刷されます。帯状のパターンが見えずにスムーズな結果が理想的です。
- 2 印刷結果に問題がある場合は、インクジェットノズルの目詰まりがクリアされるまでテストを何度か繰り返します。

⇒ テスト印字パターンの読み方

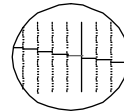
テストパターンは、各カートリッジの色帯と傾斜線から構成されています。各ジェットは短い横線で示され、全体で階段状のパターンが印刷されます。電気的な障害のあるジェットは太棒として、インクの詰まったジェットは階段状パターン中の隙間または線の乱れとして印刷されます。補正が可能なプリントモードは、テスト印字パターンの上に印刷されています。



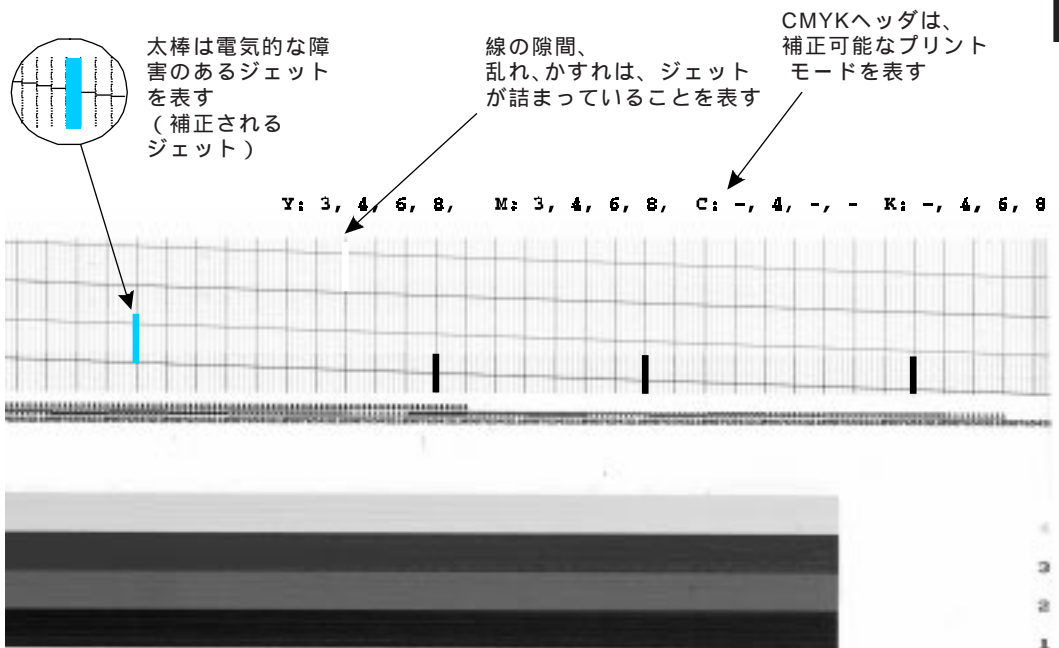
線の間



線の乱れ



線のかすれ



ジェットの詰まり

ジェットの詰まりは自動的に検出されないため、手作業で除去しなければなりません。ジェットの詰まりは、テスト印字パターンで傾斜線の隙間または線の乱れとして印刷されます。

ジェットの詰まりを除去するには、『ユーザーズガイド』の第4章の指示に従って、カートリッジのクリーニングとインクの吸引を行ってください。階段状パターンの不揃いがなくなったら、印刷ジョブを開始できます。

インク カートリッジの位置補正

インク カートリッジの位置を補正するには、カラー デッドバンド補正とカラー キャリブレーションの2つの方法があります。

カラー デッドバンド補正とは、ドットの配列を調節する方法です。双方向印刷モードで印刷する場合、カートリッジの印字速度によって、ドットの位置が用紙の目標領域からずれることがあります。カラー デッドバンド テスト パターンでは、デッドバンド速度をチェックし、最適な印刷結果が得られるように補正することができます。印刷を確認できるように、アクセサリボックスに虫眼鏡が入っています。

カラー キャリブレーションを行うと、各カートリッジのインクジェットの相対位置を補正することができます。カートリッジの製造上のばらつきやプリンタ内のカートリッジの取り付け位置によって、インクジェット的位置がずれることがあります。カラー テスト パターンの結果の水平方向と垂直方向の値を調べて、最適な印刷結果が得られるまで補正します。印刷を確認できるように、アクセサリボックスに虫眼鏡が入っています。

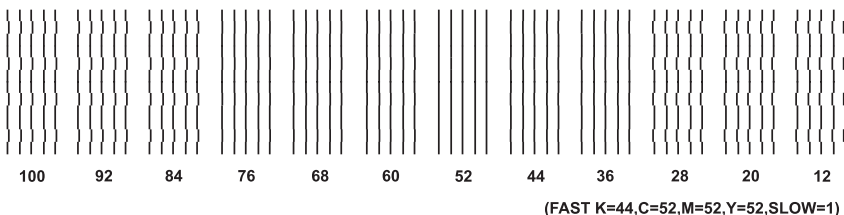
カラー デッドバンド補正を行ってからカラー キャリブレーションを行う必要があります。カラー デッドバンド補正とカラー キャリブレーションは、カートリッジを取り替えるたびに実行してください。カートリッジを取り外した後、再び同じカートリッジを取り付ける場合には、カラー キャリブレーションだけを行ってください。



カラー デッドバンド補正を実行するには

- 1 用紙をセットし、[ユーティリティ] - [キャリブレーション メニュー] - [カラー DB テスト] を押します。

次のようなテスト パターンが印刷されます。

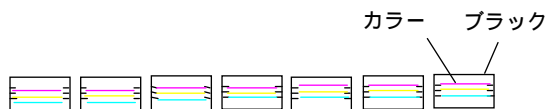


- 2 各色ごとに垂直方向の線を見て、最も直線に近い線を選択します。選択した線の下に補正番号が表示されています。
- 3 既存の補正値は、テスト パターンの右下端に印刷されています。補正値が選択した値と異なる場合は、変更したいカラー デッドバンドのボタンを押して補正値を入力し直します。[ツギ] または [マエ] オプション ボタンを押して、希望通りの補正になるまでスクロールします。

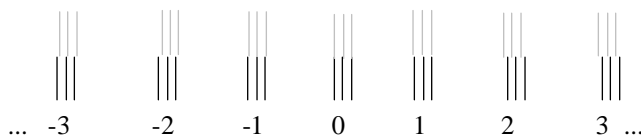
➡ カラー キャリブレーションを実行するには

- 1 用紙をセットし、[ユーティリティ]-[キャリブレーションメニュー]-[カラー キャリブレーションテスト]を押します。

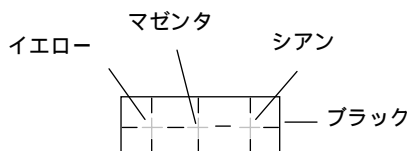
次のようなテストパターンが印刷されます。



ヘッドの水平位置テストパターン



ヘッドの垂直位置テストパターン



ヘッドの現在位置テストパターン

ヘッドの現在位置テストパターンの「+」の位置を調べます。正しい場合には、キャリブレーションに問題はありません。ずれている場合には、次の手順に従ってプリンタヘッドの位置を補正してください。

- 2 [シアン - スイッチ] を押します。
- 3 ヘッドの垂直位置テストパターンを見て、シアンの垂直方向の位置が最も適切な番号を入力します。
- 4 各色ごとに同様の手順を繰り返します。水平方向の補正にも、ヘッドの水平位置テストパターンを使って同様の手順を繰り返します。

用紙軸キャリブレーション

[ユーティリティ]-[キャリブレーション]-[ヨウシジクテスト]を選択すると、垂直方向のマークを印刷して用紙軸のキャリブレーションを行うことができます。印刷されたマークを838.2 mm以上の長さの定規を使って測定します。マークからマークまでの間がちょうど838.2 mm離れていることを確認してください。測定値がディスプレイの表示と異なる場合は、測定した長さまたは幅に合うようにプリンタの設定を調節することができます。注記：別の用紙をセットするたびに、用紙軸テストを実行してください。



用紙軸キャリブレーション テスト パターンを印刷するには

- 1 91 cm以上の長さの用紙、または実際に使用する用紙をセットします。ただし、線の長さが不揃いになるため、ロール紙のキャリブレーションに91 cmの長さの用紙を使用することはできません。
- 2 [ユーティリティ]-[キャリブレーション]-[ヨウシ ジク テスト] を押します。
2つのマークが印刷されます。
- 3 印刷された用紙を取り出して、マーク間の距離を測ります。ちょうど838.2 mmの間隔であることを確認します。
- 4 測定値が異なる場合には、[ヨウシ ジク] を選択し、測定値に基づいて調節します。

カートリッジの認識

このプリンタで使用できるカートリッジは、ENCAD PRO 600eカートリッジだけです。プリンタの損傷を防ぐために、ENCAD PRO 600eカートリッジが正しく取り付けられていることを確認するカートリッジ認識機能を備えています。この機能は、印刷要求（イメージデータ、テスト印字パターンなど）を受信したときに実行されます。

カートリッジの認識に加えて、このプリンタはカートリッジのテストを自動的に行い、そのテスト結果に基づいて画質を向上したり、カートリッジの寿命を調べたりします。また、システムのスステータスをユーザーに知らせます。印刷と次の印刷の間に行われるテストと、ユーザーが指定したときに行うテストがあります。

カートリッジ関連のエラー メッセージについては、『ユーザーズ ガイド』の付録Fに説明されています。

カートリッジ関連のエラーをクリアするには、[カートリッジ コウカン] ボタンを押して、インク カートリッジを交換できる位置までキャリッジを移動します。各スロットにENCAD NovaJet PRO 600e 専用カートリッジが正しく取り付けられていること、全カートリッジのインクの種類が一致していること（GA、GS、GOなど）を確認してください。必要に応じて新しいカートリッジを取り付けてください。



カートリッジ認識エラーをクリアするには

- 1 [カートリッジ コウカン] を押し、インク カートリッジを取り外すことができる位置までキャリッジを移動します。
- 2 ENCAD PRO 600eカートリッジが4本取り付けられていることを確認します。無効なカートリッジは取り替えてください。
- 3 [OK] を押します。問題が解消されていれば、プリンタは印刷要求の処理を続行します。問題が解消されていない場合は、ピープ音が鳴ります。

Quality Imaging Supplies™

ENCAD Quality Imaging Supplies (QIS) では、NovaJet PRO 600e専用のインクや用紙を豊富に取り揃えています。以下は、最も一般的に利用されているインクや用紙のリストです。製品カタログの取り寄せやご注文は、最寄りのENCAD製品取扱店までお問い合わせください。

NovaJet PRO 600e専用QIS備品

用紙/インク

注文番号	用紙	GRAPHIC STANDARDインク アクセサリー キット
208041	写真光沢用紙 7 MIL 1524 mm X 30.48 m	208163-1 GRAPHIC STANDARD (GS) シアン
208040	写真光沢用紙 7 MIL 1066.8 mm X 30.48 m	208163-2 GRAPHIC STANDARD (GS) マゼンタ
208141	写真光沢用紙 4 MIL 1524 mm X 30.48 m	208163-3 GRAPHIC STANDARD (GS) イエロー
208142	写真光沢用紙 4 MIL 1066.8 mm X 30.48 m	208163-4 GRAPHIC STANDARD (GS) ブラック
208045	写真半光沢用紙 7 MIL 1524 mm X 30.48 m	GRAPHIC OUTDOOR (GO) インク アクセサリー キット
208044	写真半光沢用紙 7 MIL 1066.8 mm X 30.48 m	
208143	写真半光沢用紙 4 MIL 1524 mm X 30.48 m	208164-1 GRAPHIC OUTDOOR (GO) シアン
208144	写真半光沢用紙 4 MIL 1066.8 mm X 30.48 m	208164-2 GRAPHIC OUTDOOR (GO) マゼンタ
208146	プレミアムつや消し用紙 1524 mm X 30.48 m	208164-3 GRAPHIC OUTDOOR (GO) イエロー
208147	プレミアムつや消し用紙 1066.8 mm X 30.48 m	208164-4 GRAPHIC OUTDOOR (GO) ブラック
208148	クリアフィルム 1524 mm X 30.48 m	注記：各キットにはインク500 mlとインクカートリッジが含まれています。
208149	クリアフィルム 1066.8 mm X 30.48 m	
208038	ホワイトフィルム 1066.8 mm X 30.48 m	
208039	ホワイトフィルム 1524 mm X 30.48 m	
208152	バック照明フィルム 1524 mm X 30.48 m	
208153	バック照明フィルム 1066.8 mm X 30.48 m	
209356	キャンバス 1066.8 mm X 10.67 m	
209356	キャンバス 1524 mm X 10.67 m	
GRAPHIC OUTDOOR (GO) 用紙		
209681	ポリエチレン製旗 1066.8 mm X 15.24 m	
209687	ポリエチレン製旗 1524 mm X 15.24 m	
209680	タイベック 1066.8 mm X 15.24 m	
209686	タイベック 1524 mm X 15.24 m	
209688	耐水ペーパー 1066.8 mm X 21.34 m	
209689	耐水ペーパー 1524 mm X 21.34 m	
208512	耐水ビニール 1066.8 mm X 12.19 m	
208513	耐水ビニール 1524 mm X 12.19 m	

このページは意図的に白紙にしてあります。